

**立石 武博議員**



**Q** 南鉄の復旧に  
国の全額補助を  
**A** 今後も財政負担の  
軽減を要望する

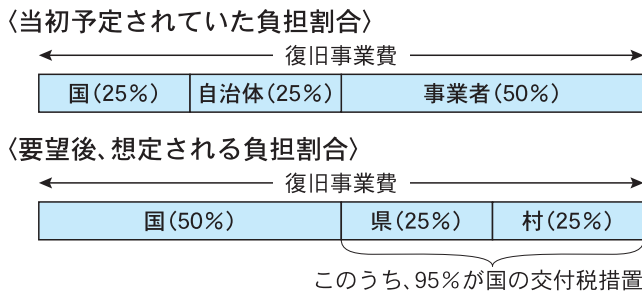
**立石議員**

3月議会で「村の復興、通学通勤の交通回復のために、南鉄の完全復旧が必要だ」と南鉄の完全復旧には全額補助を求めるよう強く要望した。

その後、国が実質的に97・5%を負担することになり大きく前進した。しかしそれでも

地元自治体負担が1億7千万円となり大きな負担である。

全線復旧後の経営継続の手法として「上下分離方式」が導入される。南鉄の復旧・運営に展望がひらかれたことは大きな前進である。運営は村の負担をゼロにすることが必要であり、国に対して全額国庫負担を求めるべきだ。



**村長**

国庫補助率の更なる嵩上げを要望している。今後も国交省への要望事項の着実な履行をお願いする。県・再生協会の町村と連携し、一日も早く南鉄の全線復旧をめざす。

**Q** ダム建設を一旦中止し  
村民への説明を  
**A** 国交省に要望する

**立石議員**

村の自然をこれ以上壊してはならない、南阿蘇の自然を生かした村づくりこそ、村の観光、地域の活性化にとって何よりも重要だ。国交省は村民(全体)に説明会も開かず意見

も聞かず進めている。

右岸はさらに貴重な柱状節理がある。これは阿蘇の成り立ちを知ることができる学術的に貴重な、世に残すべき地質遺産であり、自然を生かした村の活性化に欠かせないものだ。南鉄の復旧とともに立野の貴重な自然を守り生かすことが、村の活性化にとって大切である。

国に対して、立野ダム建設は、一旦中止して、村民への説明を求める必要がある。と考える。村長の見解は。

**村長**

立野ダムは、白川における抜本的な治水対策として、国交省において事業が進められており、村が参加する白川改修立野ダム建設促進期成会に於いて建設促進要望を行ってきた。地質遺産については、十分配慮して事業を進めると説明を受けてい

る。柱状節理を初めとする貴重な地質遺産を破壊しないよう要望している。引き続き国や県と連携し、貴重な地質遺産を極力保全しつつ建設促進要望を行っていく。

**Q** 村民のくらし福祉を  
すすめるために  
**A** 国保の増税は見送る

**立石議員**

①平成30年度の広域化によって絶対に国保税を値上げすることがないよう強く求める。

②子どもの貧困対策として給食費の完全無料化を求める。

③18歳まで医療費無料化を実施しているが、窓口無料化への改善を。

**村長**

①現在、県において平成30年度の保険料負担額を試算中であるが、現段階では増額の見込みとなっていない。まずは復興が重要な課題である。このような中で増税は避け、平成30年は見送りたい。

②給食費の負担軽減は、現在半額補助を行っている。給食無料化にこだわることなく、より効率的な手段はないか総合的に検討する。

③子ども医療に係る電算システム、さらに乳幼児・子ども医療費助成に関する条例を上程しており、平成30年4月の実施に向け準備を進めている。